

だい かん やま
代官山遺跡

東北学院大学博物館 佐藤敏幸

所 在 地 宮城県石巻市須江字茄子川
立地環境 石巻海岸平野中央、独立丘陵の標高47～25mの丘陵頂部および斜面
発見遺構 須恵器窯、堅穴建物、土坑、焼土遺構など
年 代 8世紀後葉、9世紀初頭、9世紀後半

遺跡の概要

代官山遺跡は石巻海岸平野の中央に位置する独立丘陵、通称須江丘陵の南部に位置する(第1図)。須江丘陵は南北約4.5km、東西約1.3kmの南北に長い独立丘陵である。須江丘陵には樹枝状に入り込む沢が数多くみられ、その沢に面する斜面に須恵器窯がつくられている。これが須江窯跡群で、その分布は須江丘陵全体に広がっている(第2図)。代官山遺跡は標高47～25mの丘陵頂部および斜面に立地(第4図)しており、須恵器窯2基、堅穴建物1棟、堅穴状遺構2基、土坑5基、焼土遺構7基などの遺構が発見されている。

1 須恵器窯の構造と特徴

須恵器窯は2基発見されている。半地下式窯窯1基、地下式窯窯1基である。

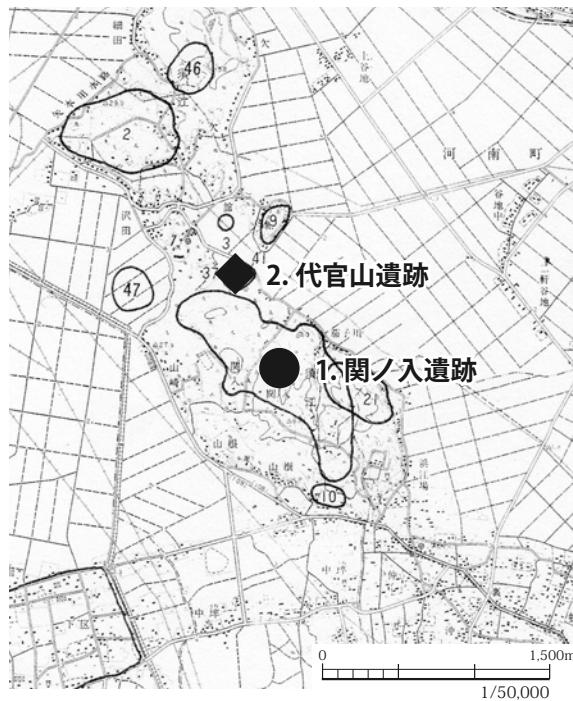
半地下式窯窯の1号窯(第3図)は窯の斜面上部を逆U字状に排水溝を伴うもので、窯体は長さ6.1m、幅0.8mほどである。平面形は短冊形を呈する。焼成部および燃焼部の側壁からは天井加工用の芯材が確認されている。焼成部底面はフラットで急傾斜である。焼台に丸瓦片を多数使用している。焼台に使用している丸瓦は粘土紐巻き造りで凸面縄叩き、内面に布目を残す行基式丸瓦である。この丸瓦に類する資料は、代官山遺跡の北西2kmに位置する須江瓦山窯跡、南西約4kmに位置する赤井官衙遺跡から出土している。生産窯である須江瓦山窯跡の瓦を転用した可能性が高い。

地下式窯窯の2号窯は窯体は長さ7.1(焼成部3.2)m、幅1.2mほどで、平面形は槍先形を呈する。小規模なものである。焼き台には坯を伏せて床面に張り付けたものや甕片を転用したものがある。

2 須恵器の器種と流通

半地下構造の1号窯(8世紀後葉)で焼成された器種は壺、椀、高台付壺、高台付椀、壺蓋、長頸瓶、甕、鉢である。壺、椀の底部切り離しは回転鎬切りで、体部下端から底部全面に回転削りあるいは手持ち鎬削り再調整されるものもある。高台付壺、高台付椀は概して体部が強く弯曲する椀形を呈し体部下端から底部全面に回転ケズリ再調整された後、深く明瞭な接合沈線を施し、角張った薄い高台部を付している。瓶類の高台部にも明瞭な接合沈線技法が観察される(第6図)。

代官山遺跡1号窯の製品は南西約4kmに所在する牡鹿柵・牡鹿郡家である赤井官衙遺跡に供給されている。また、代官山1号窯に極めて類似する資料が北西約30kmに位置する栗原市伊治城跡から出土している。伊治城跡SI173堅穴建物堆積土一括投棄されたとみられる人為堆積出土土器に代表され



第1図 代官山遺跡、関ノ入遺跡の位置

る資料（第7図）である。伊治城跡SI173 竪穴建物にみられる類似資料は、代官山1号窯製品と比較して、壺や高台付壺、高台付碗の器形、切り離し技法、高台部形態、接合沈線技法は同じであるが、壺では底径がやや小さく、再調整が施されるものがない点、高台付壺、高台付碗の底部から体部下端に再調整が施されていない点が異なっている。いずれも底径の縮小化、技法の簡素化という点で代官山1号窯よりも年代的に後出の可能性がある。代官山1号窯に後続する窯の製品が伊治城へ供給されたか、あるいは工人が伊治城周辺に移動して窯を築いて供給したものと考えられる（第5図）。

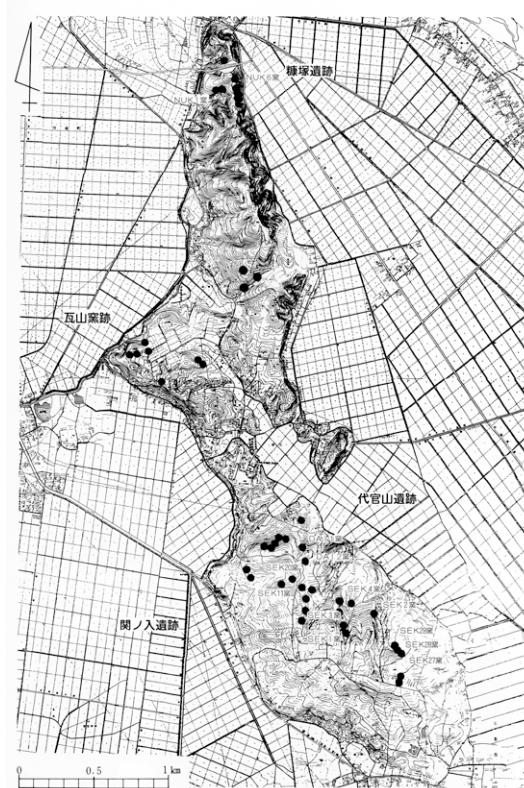
地下式構造の2号窯（9世紀後半）で焼成された器種は壺、甕、広口瓶である。

3 その他の遺構

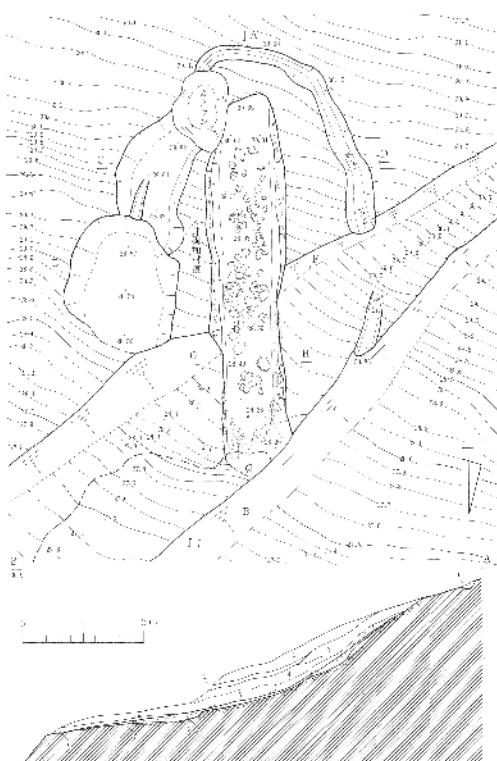
代官山遺跡 1 号竪穴建物（8世紀末～9世紀初頭）からは、赤焼き土器椀の底部に「佛口」と刻書されたものが出土している。隣接する関ノ入遺跡 48 号、49 号竪穴建物も 8 世紀末～9 世紀初頭に位置付けられる竪穴建物で、「佛」の墨書き須恵器、土師器多口瓶、鉄鉢形須恵器が出土している。古代 牡鹿郡からは郡家付属寺院が発見されておらず、8 世紀末～9 世紀初頭の仏教施設が須江窯跡群内にあった可能性が推察される。

関連文献

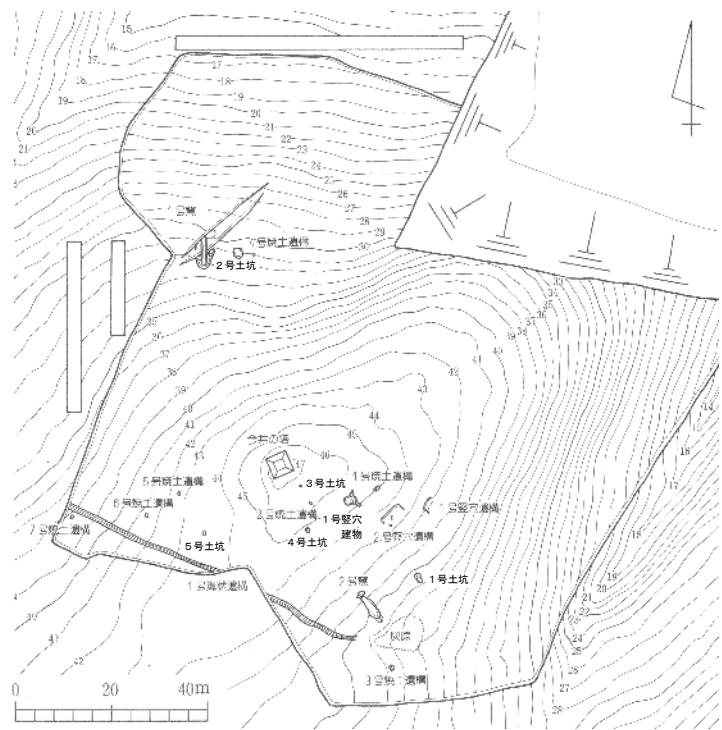
- 河南町教育委員会 1993a『須江窯跡群代官山遺跡』河南町文化財調査報告書第6集
 - 河南町教育委員会 1993b『須江窯跡群関ノ入遺跡』河南町文化財調査報告書第7集
 - 佐藤敏幸 1995「須江窯跡群の窯構造について」『石巻文化センター調査研究報告』第3号
 - 中野裕平・佐藤敏幸・阿波広子 1999「須江窯跡群の窯業生産開始について—瓦山窯跡出土の瓦をめぐって—」『石巻文化センター調査研究報告書』第5号
 - 矢本町教育委員会 2001『赤井遺跡I 報告書』矢本町文化財調査報告書第14集
 - 築館町教育委員会 1991『伊治城跡』築館町文化財調査報告書第4集



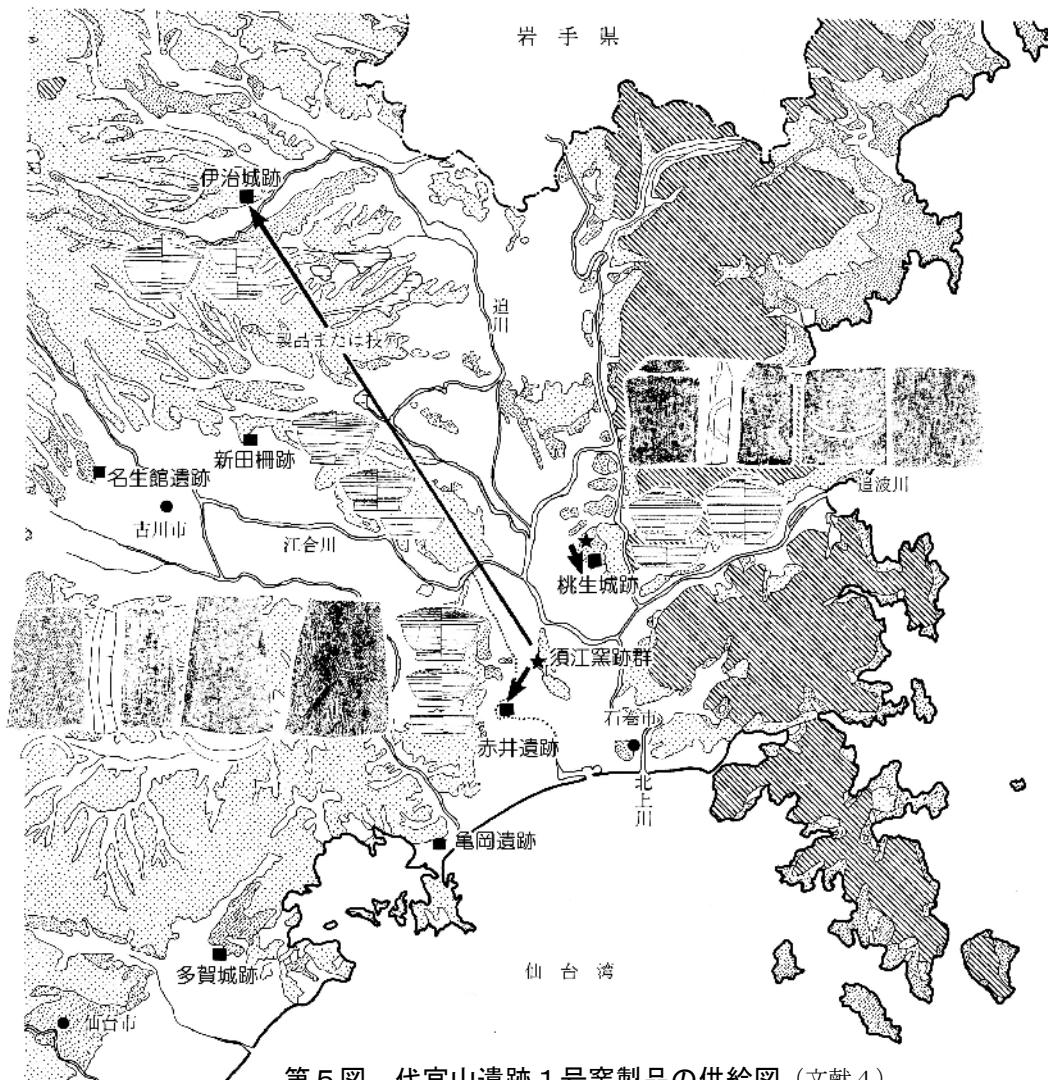
第2図 須江窯跡群の須恵器窯分布（文献3）



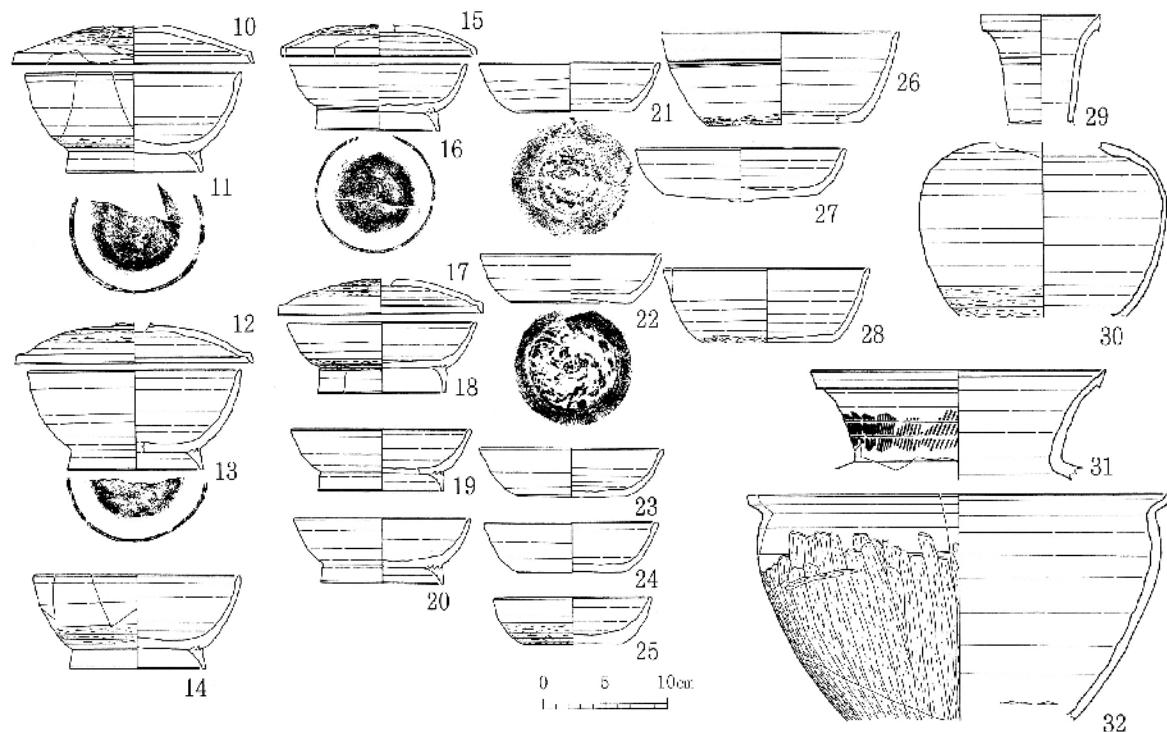
第3図 代官山遺跡1号窯平面図
(文献1)



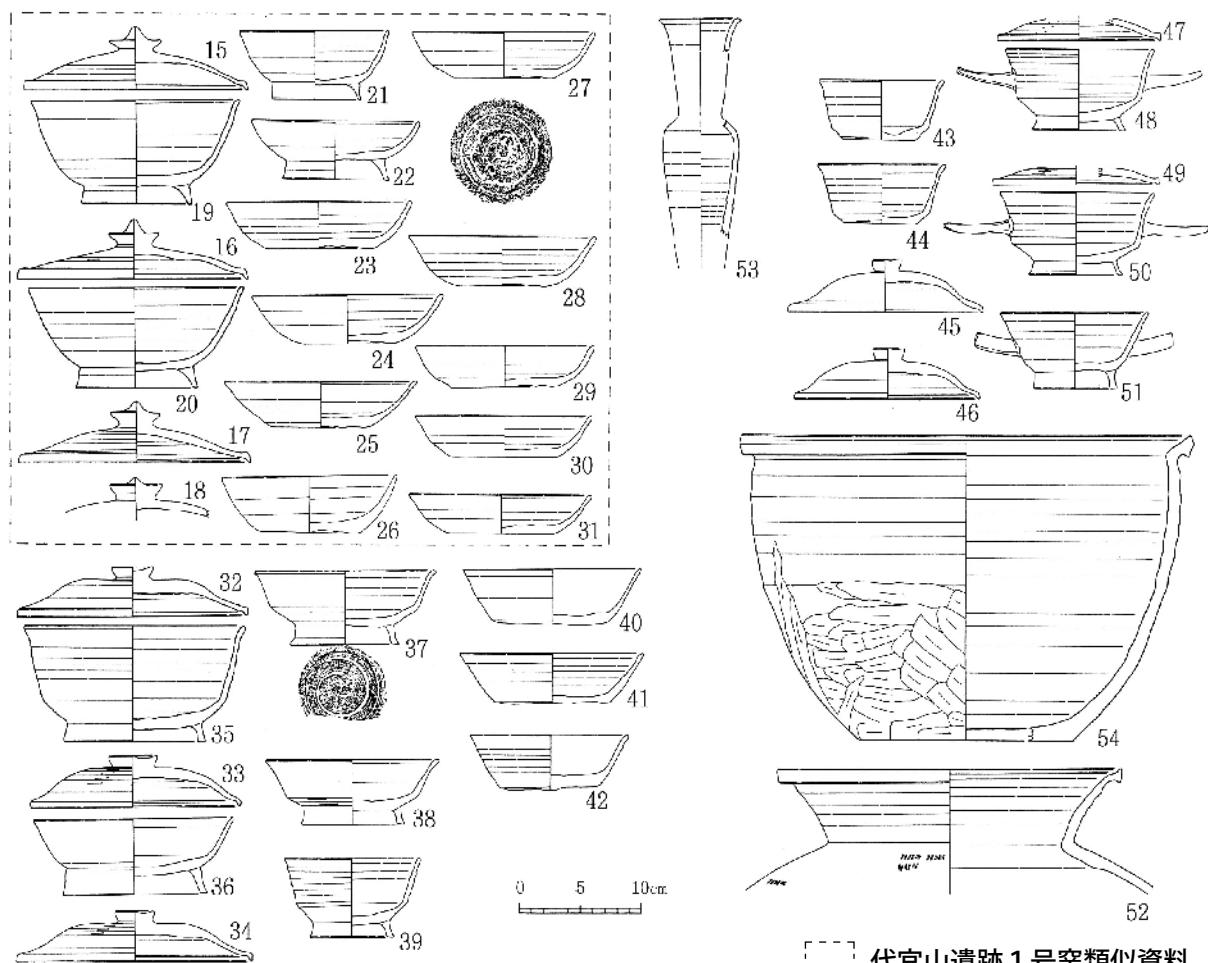
第4図 代官山遺跡遺構配置図 (文献1)



第5図 代官山遺跡1号窯製品の供給図（文献4）



第6図 代官山遺跡1号窯出土土器（文献1）



□ 代官山遺跡1号窯類似資料

第7図 伊治城跡 SI173 竪穴建物出土土器（文献6）